

第4回行政評価検証専門部会会議録

日 時	平成28年10月20日（木）午後1時～5時
場 所	北上市生涯学習センター 学習室（第1、第2）
出席者	【委員】佐藤徹副委員長（部会長）、熊谷智義委員、児山正史委員、高橋秀行委員、高樋さち子委員 【事務局】企画部長、政策企画課長、行政経営係長、高橋主査、財務部長 【担当部課職員】教育部長、子育て支援課長、保健福祉部長、長寿介護課長

事前に各委員が記入した外部評価シートを基に、必要な場合のみ担当部から補足説明を行い、その後部会としての評価を協議した。

協議結果を基に事務局が外部評価シートを整理し、各委員に外部評価シートを送付し確認することとした。

1 部会長あいさつ

忙しい中お集まりいただきありがとうございます。この時期は、大学の研究者にとっては科学研究費や研究費の申請書作成に忙しいときであり、この外部評価シートの作成もあって、ペーパーワークの多い時期となった。おそらく期限内に提出がなされたことで、無事にこの日を迎えることができたと思う。時間にあまり余裕が無いので、早速始めたい。

2 協議

【外部評価シートのとりまとめ方法について】

（委員）部会として、外部評価シートをどのように取り纏めるか。私から案を提示して、ご意見を頂戴したい。例年どのように行っているのかを説明し、そのままでもよろしければそのまま行い、改善が必要であれば、改善して行う。大きく分けて、AからDの評価と、その評価の理由とがある。基本的には、各委員の意見を尊重する。また、今回の議論の中で、各自意見の修正や補足があっても歓迎する。例えば事前にAとしていても、Bに変更することも可能である。そして、5人全員が同じ判定であれば、その判定をもって部会の判定とする。しかしほとんどの場合、5人が一致するというにはなっていない。これまでは、例えばAが4人でBが1人の場合、多数決ではAとなるが、そうではなく評価の理由を踏まえ、意見を調整し、Bの人の意見がそのまま残る場合、A「適切」ではなく、B「概ね適切」となる。評価の理由として出されているコメントについては、基本的にはそのまま採用するが、委員同士が異なる意見を述べている場合は、摺合せを行うということで進めていきたい。意見や質問はあるか。

(委員全体) 特になし。

(1) ごみの発生抑制について (施策③-1)

① 施策評価

施策の成果が明確に定義されているか

(委員) 「再使用」を削除してもらいたい。評価の理由について、委員の名前は削除になるのか。

(事務局) そのとおり。また昨年度は、類似した意見の並べ替えが行われている。

(委員) 今は並べ替えられていない状態か。

(事務局) そのとおり。

(委員) CからBへ変更する。部会としての評価は「B」となる。

評価指標の設定は適切か

(委員) 評価の理由は他の委員と同じような内容になっているので、CからBへ変更する。部会としての評価は「B」となる。

要因考察や課題の把握は適切か

(委員) 全員がBということで、部会としての評価は「B」となる。

市の今後の方針は適切か

(委員) 他の委員の意見を見ると、意見が近いということでAからBへ変更する。

(委員) コメントが残るということであれば、CからBへ変更する。

(委員) 部会としての評価は「B」となる。

施策評価総括意見

(委員) 事務局への確認として、外部評価委員が誤解している可能性があるという話があったが、事務局から見て確認が必要な事項があるか。

(事務局) 担当部署としては、誤解は無いということで受け取っている。また、目標値の設定に関するご意見については、根拠を持って説明していかなければならないという認識を持ったところである。

(委員) 総括意見の「各事業所への」を削除したい。

② 事務事業評価

ごみ減量化・リサイクル推進事業

(委員) 私の判定については、3つ以上のコメントを付けたときに機械的にCとしているため、Cとなっている。BかCかに拘っているものではない。

- (委員) 他の委員の意見を見ると、リデュース・リユースに関する記載が少ないと感じ、また、見直し方策が空欄なのは問題だと思うので、BからCへ変更したい。
- (委員) 事実確認だが、事務事業評価シートの指標の項目は、成果指標ということでよいか。アウトカムになっていないという指摘をしているが、記載する側でアウトカムにしなければならないということになっているかどうか。
- (事務局) 本来は成果指標である。しかし、施策の成果指標と同一になるというものが多く、施策の中でのインパクトを測れないということで、結果的に活動指標のものが多くなっている。しかし、設計に指摘があれば、改善を考えていかなければならないと思う。
- (委員) これまでのヒアリングでも、アウトカム指標でないことを指摘しても、担当部署から「アウトプットでよいと思っていた」という意見は無かった。指摘をしても、納得してもらえらると思う。
- (委員) 事業の成果が施策の成果になるという説明があったが、異論がある。事業の直接成果の上に、施策の成果があるという、2段構造だと捉えている。例えば、リサイクル率という指標は施策レベルの指標であり、事業の指標としては適切ではないというコメントがあるが、それはそういう意味である。
- (委員) 部会の評価について、部会長の職権でCとしてよろしいか。
- (委員) 私は、記載したコメントのほか、施策からの一連の流れをみてBとした。事務事業は施策の裏付けになっているということで、施策の方を全体的にBとしていたため、事務事業についてもBとした。
- (委員) 単独でみるのではなく、一貫してみるということで、ここまでがBであればBであろうと考える。
- (委員) 部会としてどう判定するか。私としては、「事務事業評価シートの記載内容に対する評価」ということで、指標として設定すべきなのは事業レベルの成果であろうという観点で、アウトカム指標になっていないため、こう判断した。
- (委員) この場合のアウトカム指標は何か。
- (委員) 出前講座の参加者数や、出前講座参加者の理解度や関心度であろう。
- (委員) 総合的な判定をしなければならず、Cが3人でBが2人ということで、Bになることはどうなのかと思う。「C」ということにさせてもらい、コメントはそのまま残る。
- (委員) コメントの記載場所について、Bの評価の理由2つは、「改善に関する意見」へ記載されるものではないか。
- (事務局) 事務局からも確認したいと考えていた。「評価シートの記載内容に対する評価」へは、指標の設定状況などに関する指摘を記載していただき、事務事業自体の改善に関する指摘については、「改善に関する意見」に記載していただきたい。
- (委員) それであれば、同じ意見を「改善に関する意見」へ記載しているので、評価

の理由のコメントは削除したい。

(委員) 私も同じコメントを記載しているので、削除したい。

(事務局) 確認だが、「例えば、紙パックを捨てるときは折りたたんで捨てるなど」というコメントがあるが、北上市では、紙パックを切って出すというやり方を推奨している。

(委員) それであれば、その部分を削除したい。

(事務局) 先ほどの話の、事務事業の中間成果指標的なものとしてアウトカムの設定をとということについて、具体的な項目内容を記載していただければ、具体的な対応が取りやすくなる。

(委員) 申し上げたとおりで、テーマに関する参加者の理解度や関心度ということになるであろう。

ごみ減量専任指導員設置事業

(委員) Aとしたのは、良い理由をコメントとして記載しているためである。Bにしてもよいが、コメントをそのままにしてよいか。

(委員) コメントはそのままよいと思う。部会としてのコメントの一番上にもってきて、部会としての評価を「B」としたい。

家庭ごみ手数料化事業

(委員) 補足説明すると、ごみ収集量が増加しているようであり、そもそも施策レベルでごみ減量化に向けているものであり、減量化に繋がっていないであろうということで、Bにしている。

(委員) 「取り扱い数量を見ると順調である」というコメントと合わなくなっている。「平成27年度事業計画」の数値より「平成27年度事業量実績」の数値が下がっていることから判断したものだが、このコメントを削除したい。

(委員) 1人からでも疑義があったのであれば、AではなくBであろう。しかし、コメントの内容がバッティングしている。

(委員) Bということであれば、矛盾が生じるのでコメントを削除したい。

(委員) 部会として評価を「B」とする。事務局からの確認はあるか。

(事務局) 「家庭ごみ手数料化事業」の「改善に関する意見」にある、「減額の可能性も有るのではと予測される」というコメントについて、その詳しい理由を確認したい。

(委員) 中部クリーンセンターの処理能力によっては、家庭ごみの手数料を下げられるのではないかという予測である。「中部クリーンセンターの処理能力によっては」というコメントを追加したい。処理費用が安くなるのであれば、家庭ごみ手数料を下げるということで、計算をしてほしいということ。近隣市町との持ち込

まれる量の差も関わるので、計算してみなければわからないが。コメントを再度検討する。

(2) リサイクルの推進について（施策③-2）

① 施策評価

施策の成果が明確に定義されているか

（委員）部会としては「B」判定としたい。

（委員）評価の理由について確認したい。「集団資源回収量の増加を目指しているものの、実際には減少している」という理由でBとなっているが、成果の定義自体は明確ではあるものの数値成果が達成されていないということではないか。

（委員）確かに定義の項目である。

（委員）別の項目に置くのがよいかもかもしれない。

（委員）私の意見については、評価というより政策論になっている。店頭回収が進んでいるので、成果の定義に含めていく必要があると思う。

（委員）それは指標の設定に関することになるのであろう。

（委員）「一般家庭、事業所とリサイクル率の数値を記述した方がわかりやすい」という意見も、指標の設定に関する内容であれば、別の項目になるであろう。

（委員）意見としては、成果の定義に、店頭回収を反映させるようにということである。

（委員）店頭回収に言及すべきということで、部会として「B」評価となるであろう。

（委員）コメントを見直したい。

（委員）私の意見も、趣旨としては店頭回収のことが成果に入っていないことへの疑問である。

（委員）うまく繋がるかわからないが、「集団資源回収量の増加を目指しているものの、実際には減少しており、背景に店舗における回収が進んでいる状況があることから、実態とのずれが生じている」の文と「店頭回収に関することを成果に反映させるように」という文を組み合わせるとコメントとし、部会の評価を「B」とする。残りのコメントは総括意見に回すということではよいか。

（委員）それでよい。

（委員）評価がBということで、「中期成果に対応したリサイクルの推進に関して、施策の定義となっている」のコメントは削除でよいか。

（委員）それでよい。

評価指標の設定は適切か

（委員）5人がBということで、変更が無ければ部会の評価は「B」となる。私のコメントは他の委員と重複しているので、削除したい。

(委員)「リサイクル率の高さは発生抑制に直結するものでもなく、かえって自治体の財政を悪化させる可能性もある。そのため、リサイクル率が高ければよいという発想からは、行政、市民双方が脱却すべきである」のコメントは、指標の設定に関するものなのかどうか。

(委員) 総括意見に回す。

要因考察や課題の把握は適切か

(委員) 私のコメントを削除してもらいたい。評価はBのまま。

(委員) Aが1人で残りがBとなっているが、部会として「B」でよろしいか。

(委員) 私のコメントは削除してよい。

市の今後の方針は適切か

(委員) 変更が無ければ、部会として「B」となる。

(委員) Bにしていたが、Bとなる理由になっていないのでAに変更したい。コメントは残しておきたい。

(委員) コメントは総括意見へ回すということによいか。

(委員) この「今後の方針は適切か」の項目に残したい。

(委員) それではAにすることと矛盾するであろう。

(委員) ではやはり、当初のとおりBになる。

施策評価総括意見

(事務局)「資源ごみは、所詮はごみでしかない」とあるが、一般的に資源ごみは、環境政策で資源と捉える価値観があり、行政としては気になる表現である。

(委員) 資源ごみを、お金を掛けてリサイクルしている現状が、正しい方向なのかという考えを持っており、個人的な意見ではある。

(事務局) 環境基本計画を基に考えているが、確かに資源ごみをリサイクルすることは行政として側からするとお金が掛かることではあるものの、再資源化は必要なことだと考えられる。

(委員) 私の「資源ごみは、所詮はごみでしかない」以降の文を削除してよい。

(委員) これは委員会の評価であり、行政の評価ではないので、これを受けて行政側でどう捉えるかというものである。また、最終的には、委員の氏名は表示されない。そのうえで、「資源ごみは、所詮はごみでしかない」以降の文は削除でよろしいか。

(委員) それでよい。

②事務事業評価

資源ごみリサイクル事業

(委員) 私のコメントについて、上と下の項目で重複しているので、上のコメントを削除したい。

(委員) 私の「改善に関する意見」で、「資源回収」を「集団資源回収」へ修正したい。

(委員) 私のコメントを、他の委員と同じ「事業の見直し方策を記入してもらいたい」としたい。

(委員) 部会としての評価を「B」とする。

集団資源回収事業費補助金

(委員) 私の「シートの記載内容に対する評価」のコメントを「改善に関する意見」へ移し、評価をBに変更したい。

(委員) 他の委員の意見に同感なので、評価をBへ変更したい。

(委員) 部会としての評価は「B」となる。

(委員) 私の「改善に関する意見」の「事業の見直し方策は所詮小手先のみの対策である」と考える」は削除したい。

(委員)「改善に関する意見」で、衣類全般を資源回収の対象品目とすることについて、肯定的な意見と否定的な意見があり、両論になっている。

(委員) 両論でもよいのではないかと思うが、「資源回収品目を増やすことなどは、むしろ回収団体への負担となりかねない」のコメントは削除でも構わない。

(事務局) 集団資源回収は、地域の活動費の一部になっている。

(委員) 実態に合っていないということで、「資源回収品目を増やすことなどは、むしろ回収団体への負担となりかねない」のコメントは削除してもらいたい。

(3) 介護予防の推進と介護サービスの充実について（施策②）

【追加資料説明】 [資料どおりの説明部分略]

(担当課長) [略・北上市の介護人材確保対策に関する説明]

(委員) いつから開始されるのか。

(担当課長) 表の左側（介護人材養成）については平成29年4月からということで今は計画段階であり、右側（市内事業への就職支援）については平成27年度からである。

(委員) 介護人材確保推進検討会はいつから設置しているのか。

(担当課長) 平成27年度に立ち上げた。

(委員) 来年4月から開始する部分について、既に在籍している学生は対象になるのか。

(担当課長) 在籍している学生は対象にならない。

(委員) 少し不公平感を感じる。

(委員) 関係者の意見では、職場に入ってからが重要であり、キャリアアップしていく仕組みがあること、コミュニケーションやチームワークが良いこと、職場を超えて同業者とのネットワークがあることの3つが重要と述べていた。そのことも検討していくことを勧めたい。

【担当部署補足説明・質問】

(担当部長) 総括意見に、「地域医療包括支援センター」とあるが、地域包括支援センターのことでよろしいか。

(委員) そのとおり。「医療」を削除する。

(担当部長) また、総括意見にある「北上型の地域包括ケア」は、事務事業の地域包括ケアシステム構築事業のことを指しているのか、北上市全体の地域包括ケアシステムのことを指しているのか。

(委員) 地域包括ケアシステムについて、始まったばかりであり、講演会や研修会のみ実施したという段階で、期待しすぎているのではないかということ。言葉足らずになっている。「果たして、現在の進捗状況からみて、北上型の地域包括ケアが早期かつ十分に機能するかどうか疑問である」の部分は削除してもらいたい。趣旨は別に記載している。

(担当部長) また、総括意見にある「交流センター単位で」について、具体的すぎる表現のため、地域単位でという意味合いで捉えてよいか。

(委員) その部分もあるが、「徘徊」という表現を使ってよいか気になる。表現を気にする人もいると思われるので、この文章を削除する。

(委員) 「交流センター単位で」から全部ということか。

(委員) そのとおり。

①施策評価

施策の成果が明確に定義されているか

(委員) 「本事業の」とあるが。

(委員) 誤りであり、「本施策の」である。

(委員) 「施策における成果の定義」では「要介護認定者」となっているが、「要介護認定率」という指標を用いている。どちらかに統一させた方がわかりやすいのではないか」というコメントについて、成果の定義としては「要介護認定者」というのが自然な表現だと感じ、指標としては人数でなく高齢化を考慮し「要介護認定率」とするのが自然だと感じた。

(委員) 同じコメントを次の項目「評価指標の設定は適切か」へ記載している。分かりやすくという点で、どちらかに統一した方がよいのではないかというもの。強く拘っているものではない。

(委員) 統一させるとすれば、成果の定義の表現を要介護認定率にするということに

なるであろうが、成果の定義で「要介護認定率が抑制されている」という表現は、具体的すぎると感じる。

(委員) 成果の定義へ要介護認定率という言葉を入れると、指標と連動していて分かりやすくなると思う。

(委員) 成果の定義にそこまで具体化する必要があるのか、やはり疑問がある。

(委員) 必要かというよりは、統一させた方がより分かりやすくなるであろうということ。

(委員) 別のコメントで、満足度が低く重要度が高いという文の後に「市民の意識と本施策の成果の定義がかい離している」とあるが、文章の関係性がわからない。

(委員) 市民意識調査の結果を受けて記載するのであれば、成果の定義の「充実した介護サービスが受けられている」というのが矛盾しているということ。

(委員) 成果の定義に記載されているのは、実態として介護サービスが受けられているということではなく、受けられている状態を目指していくということ。

(委員) 私はそう捉えなかったので、このようにコメントしている。

(委員) 他の施策でも、成果の定義については、同じように状態を表す書きぶりになっている。将来の状態を示す表現になっている。ロジックモデルでも、将来の状態を想定した書きぶりになっており、これで良いと思われる。

(委員) 「〇〇している」という、静的な状態を指す表現であり、定義を表すときにはよくこのようになっている。

(委員) ロジックモデルを確認すると、私の意見はすぐわないと思われるので、コメントを削除し、評価をBからAへ変更したい。

(事務局) 成果の定義については、理想的な達成されているべき状態を記載している。むしろそうならない記載は直さなければならない。

(委員) 私の意見については、様々なところの指標を分析している中で、状態の中に指標を入れられる場合は、入れた方がよいというものである。Aに近いBであり、拘っているものではない。

(委員) 私のコメントを削除し、BからAに変更する。

(委員) 私のコメントを削除し、Aに変更する。部会の評価は「A」となる。

評価指標の設定は適切か

(委員) 私のコメントは削除する。

(委員) 私のコメントを、「今後の方針は適切か」の項目へ回したい。

(委員) 後のコメントは残し、部会の評価は「B」となる。

要因考察や課題の把握は適切か

(委員) 私のコメントで、「認知症の」を「外部要因④認知症の」へ変更したい。

(委員) 私のコメントの、「平成29年度から開始することを検討中との説明があった」を削除してもらいたい。評価については、Bで構わない。

(委員) 部会の評価を「B」とする。

市の今後の方針は適切か

(委員) 「評価指標の設定は適切か」に記載したコメントを、こちらに移してもらいたい。

(委員) 部会の評価を「B」とする。

施策評価総括意見

(委員) 「平成29年度から」を削除したい。

(委員) 事務局から確認事項はあるか。

(事務局) 地域包括ケアシステムに関する部分について、介護予防から切り離して、上位の考えとして位置付けるべきというコメントがあるが、総合計画を検討していくうえでのご意見として受け取ってよいか。

(委員) そういう趣旨だと思う。

(事務局) 「今後の方針は適切か」にある「地域包括ケアシステムづくりに関しては、より上位の概念として位置付け、地域での支え合い体制の構築に向けて、より具体的な内容を示すべき」という意見と、総括意見にある「地域包括ケアに関する施策を別に設定し、目指す状態にどこまで近づいているかを評価した方がよい」という意見は、同じ趣旨であると思われるが、総括意見にまとめた方がよいかどうか確認したい。

(委員) 施策評価シートの「今後の展望」で触れられていたので、「今後の方針は適切か」に載せている。これは、事務事業の地域包括ケアシステムが、実体に則した事業名称になっていないことの調整にも繋がってくるので、このままこの項目に残したい。

(事務局) 総括意見の「E P A」について、言葉の意味が分かりにくいので、注釈がほしい。

(委員) 発展途上国等の外国人を受け入れるもの。その人たちであれば、介護であっても過労という印象を持たないであろう。説明を補足する。

②事務事業評価

在宅医療介護連携促進事業

(委員) 抜けている部分が多いということで、BからCへ変更したい。

(委員) 私のコメントの「検討すべき」を「記載すべき」へ変更する。また、同じく

空欄が多いと感じるので、BからCへ変更したい。

(委員) 未記入は何を指しているのか。記入忘れなのか、内容が無いのか。

(委員) 私の考えとしては、未記入の欄が多いので評価ができない。

(事務局) 未記入については、把握していないか、入力していないか。

(委員) 実績が無いのであればその旨を記載しないと、怠慢に見える。

(委員) 厳しめ評価であるが、部会の評価は「C」とする。

(委員) コメントの記載場所について、「評価指標として、在宅療養者数の実績値の記載が無い」は、「シートの記載内容に対する評価」の方に記載した方がよいのではないか。

(委員) 確かにそのとおりだと思う。移動させる。

地域包括ケアシステム構築事業

(委員) 私のコメントの「計画策定」を「事業」へ変更する。

(委員) 私のコメントの「実績としては」を削除したい。

(委員) 他の委員のコメントのとおり空欄が目立つので、BからCへ変更する。

(委員) 「事業の事前評価としては、計画はよいが移行処置などを含めて評価をすると不透明な点がある」のコメントを削除したい。空欄が多いので、事前評価と見なしていた。

(委員) コメントの記載場所について、「事務事業の改善に関する意見」にある「「事業の見直し方策」が空欄となっている」と「アウトプット、アウトカムが不明である」は、「シートの記載内容に対する評価」の方に位置付けなくてよいか。

(委員) 私のコメントで、「ワーキンググループ開催1回」のところに「講演会開催1回」を加えたい。

(委員) 変えるのであれば、1つ前の事業の方も変更することになる。どちらでもよいが、「シートの記載内容に対する評価」の方に移動させる。

社会福祉法人利用者負担軽減制度事業補助金

(委員) 私のコメントで、「改善に関する意見」にあるものを「シートの記載内容に対する評価」の方へ移動させる。他の委員のコメントと類似しているので、他の委員と評価も同じにするのがよいのかもしれないが、他の事務事業の評価では同じ理由でCとなっているので、このままCとしたい。調整が必要であろう。

(委員) 私はAにしていたが、記載がなく不明な点が多いので、Bに変更したい。

(委員) 他の委員がコメントしているが、対象が限られてしまっていることは問題だと思う。

(委員) 北上市内で、対象となり得る団体はどれくらいあるのか。「実施団体を増やすように」とコメントしたが、これ以上増やせないものなのかどうか。それによっ

てはコメントを修正したい。

(事務局) 事務局で把握している範囲で回答する。この事業は利用者に軽減措置した施設に対して補助をする仕組みであるため、事前の確認が必要なもの。申し出があったものを断ったり、限定したりしているわけではない。また、市の単独事業ではない。

(委員) 制度の内容が分からないと、評価のしようがない。

(事務局) コメントにある「その他の法人の在宅サービスや施設サービスの利用者が対象から除外されている」という状況があるのかを確認し、委員へ伝えたいと思う。

(委員) この事業ではその範囲に限られていることは間違いないと思う。その意味ではなく、なぜ同じような状況にある人を救済しないのかという意味である。

(事務局) 不公平が無いよう広げた方がよいのではないかという意味であればわかる。

(事務局) 検討が必要ではないかというご指摘として理解した。

(委員) 部会としての評価をどうするか。前の事業に対する評価とのバランスも気になる。

(委員) 事業の重要度としては、対象が限定的であり、前の事業よりも高くないと感じるところではある。

(委員) 事業の必要性としてではなく、評価シートの記載内容に対する評価である。

(委員) 部会としては「B」とする。

(委員) コメントの記載場所について、「低所得者への経済的負担の軽減処置として良い。継続してほしい。」を「改善に関する意見」へ移さなくてよいか。

(委員) 事業の内容が分からないので、情報をもらうまで保留にしたい。

(4) 地域における子育て支援の推進について（施策①）

【担当部署補足説明・質問】

(担当課長) 事務事業「ファミリーサポートセンター事業」の「改善に関する意見」にある「マッチング実施をもって「隠れ待機児童」「潜在的待機児童」問題を先送りするための口実にしてはならない」というコメントに疑問がある。

(委員) 言い過ぎていると感じるので、削除したい。

(担当課長) 担当部署からの説明が上手くなかったのかと感じていた。

(委員) 「ただし」以降の文のみでよいか。

(委員) そのとおり。

(担当課長) 事務事業「地域子育て支援センター事業」の「改善に関する意見」に「現在4箇所のみだが、今後もっと増設することも検討すべきである」とあるが、今のニーズを考えるともっと多い方がよいということか。

(委員) 率直な感想として、アンケート結果から、増やしてはどうかというもの。

「検討すべきである」ではなく、「検討してもよいのではないか」というコメントに修正する。

(担当課長) 事務事業「子育て支援コンシェルジュ設置事業」の「シートの記載内容に対する評価」にある「コンシェルジュがニーズを把握しても、保育所等の空きがなく、十分な対応ができないとなれば、果たして事業を行う必要性があるのかどうか疑問である。また、事業を民間に委託することも検討すべきである。」のコメントについて、市としては現場の声を聞ける有効なものと考えているが、どのような考え方によるご意見か。

(委員) 保育所等の空きがない状況では、事業の必要性が無いと考えたものである。しかし、コメントについては「ただし」以降の部分を全て削除し、評価をDからBへ変更する。

(担当課長) そうなると、「改善に関する意見」にある「十分な機能を発揮できないとするならば、一時事業を休止して、民間委託への転換を検討したり、潜在的待機児童数の減少に向けた施設設置などの事業を優先すべきではないか」というコメントについては残すかどうか。

(委員) 削除する。「平成27年度にスタートしたばかりの事業であり、民間委託も可能な事業なので、その点について今後検討してもらいたい。」というコメントへ変更する。

(委員) 先ほどの説明で、子育て支援コンシェルジュの事業によって生の声を拾うことができているという話があった。「事業の目的と概要」に、情報収集や実態把握という部分を加えるべきであると感じた。

(委員) 事業の見直し方策が空欄となっているのはどういうことか。

(委員) 順調だから見直しする必要が無いということで、記載が無いのではないか。

(担当課長) そのとおりではある。ただし、子育て支援コンシェルジュ設置事業については、始まったばかりだからという理由である。

(委員) 民間委託等の拡充が十分に可能となっているが。

(担当課長) 正職員ではなく非常勤職員が従事しているという現状から、民間での実施が可能ではないかと考えたもの。

(事務局) 事務局から確認したいが、事務事業「ファミリーサポートセンター事業」の「改善に関する意見」にある「民間等の競合する類似事業について、具体的な記述がほしかった」というコメントは、事務事業事後評価シートの項目をより具体的に表現すべきという意味か。

(委員) そういう意味ではない。コメントを削除してもらいたい。

①施策評価

施策の成果が明確に定義されているか

- (委員) 私のコメントを、「今後の方針は適切か」の項目へ移したい。そして評価を、CからBへ変更する。
- (委員) 施策の成果の項目数が、委員によって4点、3点、2点と異なっているのが気になる。
- (委員) 4点については、施策における成果の定義に記載されている数であろう。
- (委員) 3点というのは、ヒアリングからということであろう。2点とはどこからか。
- (委員) ファミリーサポートセンター事業を中心に考えてしまったもの。一部コメントを削除し、「もっと簡潔に表現すべきであり、括弧書きは不要である」へ変更する。
- (委員) コメントの整理は必要であるが、何とかかなりそうではある。部会の評価は「B」となる。

評価指標の設定は適切か

- (委員) 私のコメントで、「利用について」を「利用実数」へ変更し、「検討」を「追加」へ変更したい。
- (委員) 他の委員のコメントのとおりだと感じるので、BからCへ変更する。
- (委員) 部会としてCでもよいと思う。
- (委員) 部会として「C」とする。

要因考察や課題の把握は適切か

- (委員) 私のコメントで、「対策を検討する」を「解決策を検討する」へ変更する。
- (委員) 私のコメントで、「養育不安は」を「養育不安の中には」へ変更する。
- (委員) Bが2名でCが2名となっている。部会として「C」とさせてもらう。

市の今後の方針は適切か

- (委員) 私のコメントで、「構成で」を「構成が」へ変更する。
- (委員) 私のコメントで、「記載されているが」の後に「具体的に記述してほしい。」を追加したい。
- (委員) 今後の方針として何を具体的にするかという意見が無かったのでAとしたが、他の委員のコメントを見て、Aではなく、BかCだと感じている。
- (委員) 残り4人がCということで、部会として「C」とさせてもらう。

施策評価総括意見

- (委員) 私のコメントで、「矮小化されていると感じる」という表現を改め、「とどま

るものではない」へ変更する。

②事務事業評価

ファミリーサポートセンター事業

(委員) 私のコメントで、「改善に関する意見」にあるものを「シートの記載内容に対する評価」の方へ移動させる。

(委員) Bとしていたが、他の委員のコメントのとおり「事業の見直し方策」の記載が必要だと感じるので、Cでもよいと感じる。

(委員) 事業単独でみて、あまり問題は無いということでBとした。

(委員) 私も、事業単独でみて、順調に進んでいるということでAとした。

(委員) ここは、シートの記載内容に対する評価であり、記入の仕方に対するものである。

(委員) 未記入について、順調なので記入していないという担当部署の説明であった。

(委員) その点については、納得し難いところもあった。事業として課題がある以上、見直し方策の記載はほしい。

(委員) Cが3名ということもあり、部会の評価は「C」としたい。

(委員) それであれば、私のコメントで、「順調に」を削除したい。

地域子育て支援センター事業

(委員) 私のコメントで、「改善に関する意見」にあるものを「シートの記載内容に対する評価」の方へ移動させる。

(委員) 私のコメントで、「シートの記載内容に対する評価」にあるものを「改善に関する意見」へ移動させたい。

(委員) 「改善に関する意見」へ、「土日祝日も支援センターを開放し、対応できるようにしてもらいたい」のコメントを追加したい。

(委員) Aとしていたが、Bへ変更したい。部会としてCでも構わない。

(委員) 部会の評価を「C」とする。

子育て支援コンシェルジュ設置事業

(委員) 私のコメントで、「事業であり」を「事業であるが」へ変更する。

(委員) 私のコメントで、「土日」を「土日祝日」へ変更する。

(委員) CからBへ変更する。私のコメントで、「改善に関する意見」にあるものを「シートの記載内容に対する評価」の方へ移動させる。部会として「B」となる。

(委員) 「シートの記載内容に対する評価」にある「非常勤職員1名配置で十分対応可能か疑問である。特に土日でも子育ての情報入手がほしい場合、コンシェルジュが必要だと思う。」のコメントについて、「改善に関する意見」の方へ移した方がよ

いのではないか。
(委員) それでよい。

3 その他

【事務局説明】

(事務局) 次回は、11月24日(木)午後2時からとなる。